平成27年（2015年）
広報 はだの
9/1
No.1131
毎月２回（１日・15日）発行

主な内容

◇初秋のふるさと秦野お手軽散歩　（７面）
◇ダイヤモンド富士のスポット　（７面）
◇９月は高齢者がお得　弘法の里湯（７面）
◇カメラスケッチ　洋上体験研修　（８面）

編集・発行　秦野市　市長室広報課　〒257-8501　秦野市桜町一丁目3番2号　代表　☎0463(82)5111　FAX0463(82)9792　http://www.city.hadano.kanagawa.jp

市制施行60周年を迎え、改めて「秦野」というまちを見つめ直す。市の誕生から今日まで、市民の暮らしに寄り添い続ける「秦野たばこ祭」をひもときます。

6面まで　たばこ祭特集

好きになるのはいつだって、
中身を知ったとき。

たばこ祭に　恋する

はだのタバコイ物語

思わず胸キュン♥ たばこ祭のあしあと

第１回

耕作者へ「いつもお疲れ様」

大正13年結成の秦野煙草(たばこ)耕作組合(大正15年に県煙草耕作組合連合会に改称)の創立25周年を記念して、いくつかのイベントを開催。その中の一つ「タバコ耕作者の慰労会」が「秦野たばこ祭」になりました。

◇秦野独自の苗床を完成させた関野作次郎氏の胸像を建立
◇県煙草誌を刊行
◇「秦野煙草民謡」を公募。大秦野高校教諭が作詩した「秦野煙草音頭」が採用され、作曲家の中山晋平氏が作曲を手掛ける。審査員を歌人の前田夕暮氏らが務めた
◇**タバコ耕作者の慰労会を開催**
歌舞伎劇、人形芝居、民謡踊りなどが行われる

これが秦野たばこ祭に

情熱を傾けた耕作のストーリー

「秦野煙草音頭」は、タバコの育成から収穫、製品を味わうところまでを歌にしています。第40回では、歌詞がないサンバ調の「秦野煙草音頭」が作られました。

1948(昭和23年)

1950(昭和25年)

第３回

耕作者と市民が一緒に

品質を比べた葉タバコ品評会

演芸大会、葉タバコ品評会、駅伝大会、野球大会、花火大会など、市民を対象にしたイベントも行うようになり、耕作者だけでなく、市民も楽しめる祭りに変わっていきました。

息の合った踊り

伝統を踊りでアピール

踊りを披露する「煙草音頭大会」が始まり、観客を魅了。第50回には「たばこ音頭パレード」に。

1955(昭和30年)

秦野町、南秦野町、東秦野村、北秦野村が合併して一つの市に

秦野市が誕生

1956(昭和31年)

1957(昭和32年)

第９回

祭りを盛り上げる「火」が登場

弘法大師が修行を積んだとされる弘法山の山頂で、松明(たいまつ)に火をともして下山し、竿灯(かんとう)に火を移す「弘法の火祭」と、その竿灯を掲げて市内目抜き通りを行進する「竿灯パレード」を開催。火を扱う２つのイベントは、祭りのにぎわいに花を添え、「秦野たばこ祭」と「火」をつなげるきっかけになりました。

流行にも敏感

第13回の「竿灯パレード」では、当時流行していた「ダッコちゃん」をデザインした竿灯も登場

「カワイイ」は女優だけじゃない！

第11回から15回まではコンテスト形式で、市民の中から「ミスたばこ」を選出していました。ちなみに、第11回の栄えある「ミスたばこ」の副賞は洗濯機でした。

第10回

大人が楽しむイベントを

市を中心とした実行委員会が祭りを運営することに。たばこ吸い当てコンクールや演芸会、義太夫大会など観て楽しめるイベントが増えました。

たばこを吸って銘柄を当てた

1963(昭和38年)

第16回

「ミスたばこ」が祭りを華やかに

第21回ミス・南美川洋子さんとミスター・成田三樹夫さん

映画女優が「ミスたばこ」になりました。パレードで「ミスたばこ」を一目見ようと、多くの人が足を運びました。第17回から21回までは、「ミスたばこ」に加え、男性俳優が「ミスターたばこ」になり、２人でパレードに。「ミスたばこ」の出演は第49回までででした。

タバコって？

原産は南アメリカで、ナス科の一年草。16世紀半ばに日本へ伝わったといわれています。

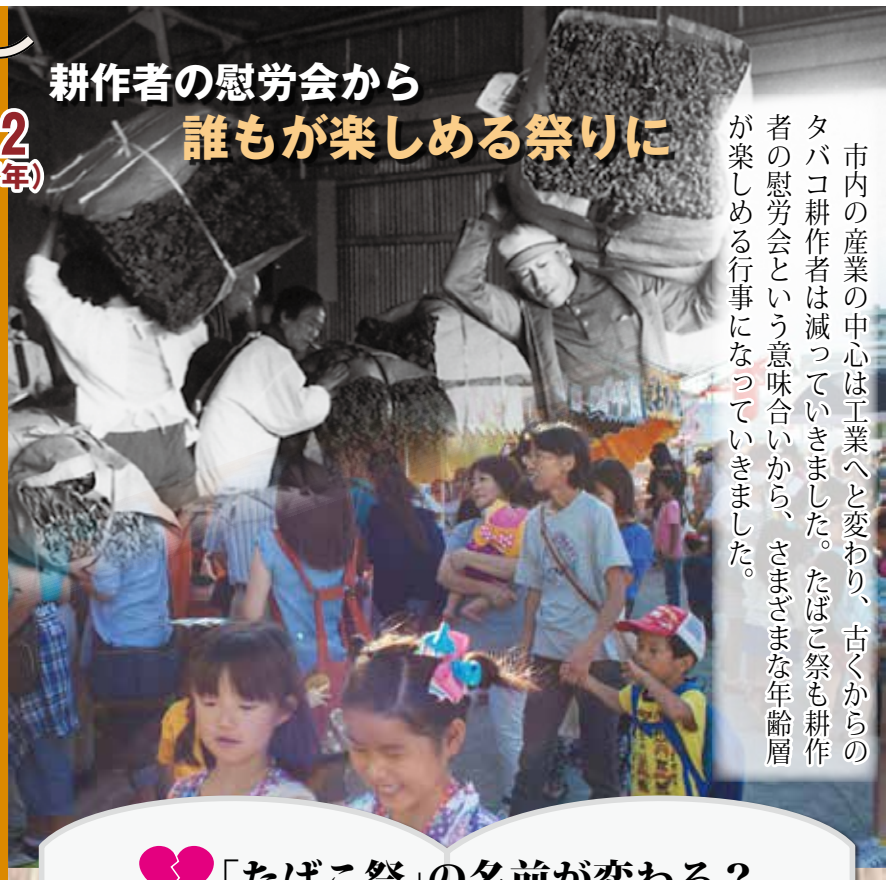
「秦野煙草は技術で作る」

高度な技術で葉を乾燥

秦野での葉タバコ耕作は江戸時代初期に始まったといわれています。秦野葉は風味がまろやかで喉を痛めないと評判でしたが、病気に弱く、栽培には労力と肥料などが必要でした。そこで、強い苗を育てる苗床や、葉の乾燥方法、収穫量を増やす密植法が秦野で編み出されました。他の産地に比べて気候には恵まれませんでしたが、耕作者の努力と工夫で、質のよいタバコを大量に生産できるようになり、薩摩(鹿児島県)、水府(茨城県)に並んで日本三大名葉に数えられるまでになりました。

しかし、産業の中心が工業に変わり農業から離れる人が増え、ついに1984(昭和59)年に市内でのタバコ耕作は幕を下ろしました。

1972（昭和47年）
耕作者の慰労会から誰もが楽しめる祭りに



市内の産業の中心は工業へと変わり、古くからのタバコ耕作者は減っていきました。たばこ祭も耕作者の慰労会という意味合いから、さまざまな年齢層が楽しめる行事になっていきました。

1977（昭和52年）
「たばこ祭」の名前が変わる？

1970年代半ば、全国的にたばこが健康に有害だと言われ、市を代表する祭りにこの名前を使っていいものかという議論に。

しかし、**「今の秦野があるのは、タバコ耕作が300年以上も地域経済を支えたから」、「タバコの耕作技術が花の生産に受け継がれている」**などの意見がありました。1982年(昭和57年)の市民アンケートでも名前の継続が支持され、先人が注いだ情熱と知恵を後世に伝えていくために、「たばこ祭」という名前を使い続けていくことになりました。

1984（昭和59年）
たばこ耕作終了

第25回
子供や若者向けのイベントが登場

子供向けの怪獣ショーや若者向けのバンド演奏などが盛り込まれるように。怪獣ショーは、観客の目の前で迫力ある戦いが繰り広げられることもありました。

ステージで怪獣と戦うことも

収まることのない人気

来場者が行き交う歩行者天国

この頃は来場者が10万人を超え、第28回から市役所前の道路が歩行者天国になりました。

第30回
「ミス秦野」が祭りをPR

第35回まで、「ミス秦野」を一般募集し、3人を選出。たばこ祭のパレードに出演するほか、秦野代表として市外に出掛けたり、イベントに参加したりしました。

「ミス秦野」に選ばれた3人

1987（昭和62年）
1988（昭和63年）

第40回
市民の手で秦野を誇れるスタイルに

地域の存在そのものをアピールしようと、たばこ祭検討委員会を組織しました。市内の木材と手作りの縄を使った「ジャンボ火起こし綱引きコンテスト」を新たに開催し、参加者が力を合わせて火を起こして、みんなの願いをかなえる「弘法の火祭」の種火に使いました。

また、たばこ祭のテーマを「たばこ」と縁のある「火」とし、今も引き継がれているキャッチフレーズ「炎が舞い、光が奏でる」が誕生しました。

第41回
幻となった「たばこ祭」

9月に昭和天皇が入院され、全国でイベントなどを自粛する風潮になり、たばこ祭の中止を決定しました。祭りの準備が整い、関係団体の招待や、パンフレットを配布する直前のことでした。

1989（平成元年）
1990（平成2年）

個性で魅力アップ

当時は「一村一品」運動が盛んでした。秦野ならではのイベントをつくろうと、秦野青年会議所と一緒に試行錯誤し、ジャンボ火起こし綱引きコンテストを開催。第63回からは、秦野産ヒノキで作られた火起こし器を使っています。

市役所駐車場が会場だった

1992（平成4年）

イベントがめじろ押し

地域を超えたイベントなどが増え、さらに充実した内容になりました。

第42回　姉妹都市・諏訪市から御諏訪太鼓などを招待

第43回　本市出身の演歌歌手・服部浩子さんを招待。以来、毎年芸能人を招く「たばこ祭ステージ」に

第45回　手品などの大道芸をする「まほろば大橋ショー」を開催

大道芸に興味深々

第59回　学生たちが自主的に企画運営する「はだのよさこい踊り」が誕生

第60回　東北三大祭の青森ねぶた。引き手やハネトには、市民が参加

毎年人気の青森ねぶた

2006（平成18年）
2007（平成19年）
2014（平成26年）

第67回
市制施行60周年を前に

秦野にゆかりのあるアーティスト・坂井泉水さんがボーカルを務めるZARDの楽曲に合わせて、花火を打ち上げました。また、露店のサービスや装飾などを競う露店王グランプリを実施。約340店舗の中から来場者がスマートフォンなどで投票して決定しました。

グランプリで入賞した露店

2015（平成27年）
市制施行60周年

炎が舞い

「たばこ祭」と「火」というつながりの礎になった、2つの伝統行事。昔と今をつなぐ物語が、ここにある。

弘法の火祭

竿灯・フロートパレード

時を越えて 「君」を愛せるか。

「花を添えたいという気持ち。今から楽しみです」

火に祈りをささげて

平安時代、真言宗の開祖として世に仏教を広めた空海。弘法大師とも呼ばれる、この歴史上の人物と秦野の関わりは深く、修行を積んだとされる山は、そのまま「弘法山」と名付けられた。

たばこ祭の「弘法の火祭」は、弘法大師が五穀豊穣を祈願して松明をたいたという故事にならったもので、第9回の昭和31年に始まった。当時は、弘法山山頂で葉タバコ豊作の祈願祭を行った後、松明を手に一斉に下山した。入船橋まで歩くと、竿灯に火を移し市内をパレード。これが、たばこ祭と火をつなげる礎となった。

昭和35年からは、弘法山のほか、現在の会場、水無川河川敷にも松明を置き、点火するように。そのころは、松明の材料に、葉タバコの残幹を使っていた。

第40回の昭和62年に始まった「ジャンボ火起こし綱引きコンテスト」。これを転機に、優勝チームが起こした火を種火として、弘法大師一行が水無川河川敷までトーチを運び、護摩壇や松明に点火するというストーリーを組み立てた。記念となるこの年は、市役所前と秦野駅に護摩壇を置き、市民から祈願書を受け付け、集まった全てを河川敷でたきあげた。また、煩悩の数である108束の松明を置き、火を灯した。

火をテーマとする夜の祭典は、今では、たばこ祭に欠かせない伝統行事として定着している。夕闇の中、弘法大師に扮した市長が、採火した火を掲げながら、本町小学校から水無川河川敷まで自治会長らと練り歩く。辺りを埋め尽くす観衆の中、市長が祈りを込めて護摩壇に点火。これを合図に、川沿いに置かれた松明にも次々と火が灯され、夜空に赤々と燃え上がる。幻想的に鳴り響く太鼓の音と川面に映し出される炎の色は圧巻。その後、松明の余韻を残しながら、たばこ祭のフィナーレを飾る、仕掛花火、打上花火へとつながっていく。

祭りに新しい息吹を

「一人一人が職場で身に付けたスキルを一つの形にできて、しかも地元に貢献できることは、うれしいですね」

と話すのは、「秦野工業協同組合ジュニア会」会長、大久保政彦さん(49歳)。ジュニア会は若手工業経営者や企業の2代目、3代目を中心とする会で、メンバーは27人。創立40周年を迎えた今年、弘法大師役の市長が持つトーチ作りを名乗り出た。

手掛けるのは、一般的な木製ではなく、金属製のトーチ。メンバーそれぞれの専門技術を生かしながら、廃材となったステンレスの板などに、プレスやレーザーカットを施し、部品を組み合わせながら作っていく。3年前にも製作した実績を持つ。

「一番の見せ場ともいえるシーンに、花を添えたいという気持ち。今から楽しみです」

入会8年目の西山忠宏さん(普提・32歳)は、笑顔を見せる。昔、胸躍らせて出掛けた、たばこ祭。数ある催しの中でも、水無川沿いで赤々と松明が燃え盛る、弘法の火祭は、「普段見ている景色とはまるで違う」と幼心に思わず引き込まれたという。前回とはまた一味違うトーチで祭りを盛り上げたいと意気込む。

5年後の東京オリンピック・パラリンピックで使う聖火トーチの製作も念頭においているというジュニア会。東京都へ企画・製作を願い出る準備を進めているが、まずは、PR用の試作品として、たばこ祭で披露したいと思いを強める。

「聖火トーチが実現できれば、秦野を全国に発信できるいい機会にもなるのでは。市制施行60周年の節目の年に、試作品を地元でお披露目できて最高。皆さんと一緒に気持ちを高めていきたいですね」

今後に弾みをつけたいと目を輝かせる大久保さん。

「失敗してもいいから、一歩踏み出す勇気が必要。伝統あるたばこ祭にも新しい風を吹き込んでいきたい」一丸となったジュニア会メンバーの勢いは止まらない。今年の弘法の火祭は、行列の先頭でひときわ輝くトーチに注目し、熱い思いを感じてほしい。

光が奏でる

「少しずつ見えてくる、そのワクワク感がたまらなかった」

手を振り、稲垣さんに笑顔で言った。

「やっと、お祭りが来たね」

待っていてくれた。みんなの心に、光は灯り続けていた。

「ワクワクを届けたい。まちを元気にしたい。昔の人も、きっとそうだったんじゃないかな」

伝統を受け継ぐ力は、ここにある。パレードの姿形は変わっても、それは、今も昔も変わらない。

「見て楽しい。参加すれば、もっと楽しい。それを伝えられたら」

激しい炎のような思いが、今年も優しい光をつくり出す。

変わりゆく光

「牛が導く光のパレード」

そう呼ぶのも、なんだか面白い。

闇夜に引き継ぐ弘法大師の炎。そんな厳かな炎をちょうちんの光に変え、牛はのんびりと山車を引く。猛々しく燃え盛る松明の炎が、一変して穏やかな光になる。先人たちは、その風情を、関東を代表する光景」として疑わなかった。それが、フロートパレードの始まり。

秦野市が誕生した翌年の昭和31年、弘法の火祭とともに、それは始まった。当時の名は「竿灯行進」。その名のとおり、タバコの葉に見立てた竿に、15個ほどのちょうちんをぶら下げる。弘法山から入船橋まで下山した火祭の一行が、松明から竿灯に火を移す。それらを掲げ、2時間半かけて目抜き通りを練り歩く、市民の有志と牛の姿。祭りの最後を飾かせた。

「タバコ耕作者の祭りから、まち全体の祭りにしたい」

そんな願いが、込められていた。

その後の竿灯車は、世相を写し出すように形を変え続けた。飾り付けには、当時の人気キャラクターの姿。力仕事は、牛から自動車へ。そして、いつしか弘法の火祭から独立し、一つのパレードになった。

タバコ耕作が終わり、祭りが第40回の節目を迎えた昭和62年、見失いつつあったコンセプトに待ったをかけた。

「祭りは、地域の文化や産業など、その存在を外に知らせる大きな使命がある」

「たばこ祭」として、伝統は残したい。でも、このままじゃいけない。そこで加わったのが、秦野を代表する花や建築物のデザインだった。

「秦野は、たばこだけじゃない」

そんな思いも、あったのかもしれない。そうして、「魅せる飾り付け」を身にまとった竿灯車。その名を、船を使った西洋の移動舞台に由来する「フロート車」に変えた。

バブル景気を迎えると、より自由で派手なものが好まれた。フェスティバル要素の強い、「市民参加型の祭り」が熱を帯びる。ピーク時には、商店街や企業など、19団体がパレードに参加し、にぎわいを見せた。

しかし、一転して訪れた不景気。製作費の負担や担い手不足で参加団体は減り続け、第61回の平成20年、フロートパレードは姿を消した。

途絶えたあの日の炎。しかし、心の中に、まだそれは残されていた。

変わらないもの

虫の音響く、静かな秋の夜。会場のにぎわいから少し離れた住宅地に、「それ」はやってきた。

「来たよ」おじいちゃんの、その一言が合図。一目散に家を飛び出し、路地で待ち構える。

「ソレ 秦野葉たばこ 畑つくり」

秦野たばこ音頭が、静寂を包み込む。「光が近づく。あのカーブを曲がって、少しずつ見えてくる、そのワクワク感が、たまらなかった」

稲垣潤一さん(緑町・37歳)は、フロートパレードが青春そのものだった。幼いころ、祭りが始まる前には商店街で製作中の車を探し回るのが恒例だった。

「友達の多くは、商店街の子供。フロート車に乗れる彼らが、うらやましかった」

中学、高校もカメラ片手に追いかけ続けた。平成11年、社会人になった20歳の年に、とうとう決意した。

「自分のフロート車を作ろう」

商店街の会長に手ほどきを受け、友人と製作チームを結成。車の外観となる木材の加工など、電気の配線以外は、全て自分たちでこなした。

「車だと思わせないこと。それが、一番大切なんです」

武骨な2トン車のレンタカーと格闘の末、念願の「初乗船」が実現。一個人が作ったのは、稲垣さんが初めてだった。その後も毎年参加し、作ったフロートは10台以上に上る。

「満足した作品は一つもない。でも、それが次の製作の原動力」

そんな中にも、思い入れの強い作品がある。教会をモチーフにしたフロート。自分の結婚式を挙げた年だ。

「前に、僕のフロートを一目見てすごいと目を輝かせてくれた人がいた。それが、今の妻。たばこ祭に、祝ってもらいたかった」

その後、パレードが休止になると、稲垣さんは検討委員会に出席した。

「現状は受け止める。でも、簡単になくしていいものじゃない」

若手のアーティストなど、さまざまな団体に参加を呼び掛け続け、一昨年、ついに3団体の参加が決定。中学生が作る「手づくりらんたん」と共に、フロート車は再び秋の夜に浮かび上がった。

6年ぶりのパレード。町中を行進中、寝たきりのお年寄りが、窓から

教えて あなたのたばこ祭

千人パレードに初めて参加した子供。気合を入れて鉢巻きを締めていたのか、取ったときに頭に跡がクッキリついていて笑っちゃいました。(本町　40代　主婦)

プリキュアショーの席取りが毎年大変。(渋沢　30代　主婦)

中学生のとき、
初めて浴衣を着て
出掛けたのが、たばこ祭でした。
(萩が丘　30代　家事手伝い)

最近会場には行っていないですが、家から眺める花火でたばこ祭を楽しんでます。(羽根　70代　福祉関係)

チンドン屋コンクールってのがあってね。
サックス、太鼓に三味線。かっこよかったなぁー。
(弥生町　50代　飲食店経営)

去年ワッフル屋さんが、変なワッフルの歌を歌っていた。楽しかったから今年もまた会いたい。(柳町　11歳　小学6年生)

ミニジャガの出店で、友達と一緒に食べるって
お店の人に言ったら、たくさん入れてくれました。(鶴巻北　20代　主婦)

おととしの9月29日。たばこ祭の日に1歳になった息子に
生まれて初めてのつくねを食べさせました。今思うと、ケーキよりも先でしたね。
(今泉　30代　主婦)

あの人のたばこ祭

元ミス秦野　**三嶋 雅代**さん(千葉県松戸市在住)

昔住んでいた所が、当時メーン会場だった専売公社のすぐ近くで、この時期が来るとワクワクしていました。特に、県警や本町中学校の吹奏楽隊が出るパレードが大好きで、自分もパレードに出たいと思い、吹奏楽部に入りました。でも、その年からコンクールに集中するために部が参加しなくなってしまって、がっかり。それから数年後に、ミス秦野に選ばれて、第33回秦野たばこ祭で念願のパレードに参加できたんですよ。うれしかった半面、誰も見に来ないのではと不安もありましたが、当日は多くの人が手を振ってくださったのが忘れられません。本当に今でも良い思い出です。たばこ祭にまた行ってみたいな。

あの人のたばこ祭

市内最後のタバコ耕作者　**石原 雅夫**さん(渋沢在住)

昔は、葉タバコの品評会ってのがあって、たばこ会館(現在の秦野駅前農協ビル)で毎年やっていたんだ。みんなが真剣なまなざしで他の生産者のを見ていたのを覚えているよ。

今も、祭りの終わりに水無川沿いで松明(たいまつ)に火を付けるでしょ。あれ昔は、タバコの葉っぱを採った後の殻(茎の部分)を集めて燃やしていたんだよ。あれを見ると、「一年間タバコ耕作頑張ったな」としみじみしたなぁ。

たばこの名前　これからも

タバコは風が吹くとすぐ倒れたり、乾燥させる作業が夜通しであったりと本当に大変だった。大変過ぎてもう一回タバコ耕作をやるかと聞かれたら、やるかわからないけど(笑)。でも、たばこが「秦野の発展に貢献した産業」ということは忘れてほしくないね。一時期、祭りの名前が変わるかもという話があったでしょ。今の秦野を築いた、タバコ耕作に関わった者としては、やっぱり「たばこ祭」って名前はこれからも残っていってほしいな。

何年か前に手筒花火をやっていて、それがすごい迫力でした。今でも鮮明に覚えています。
またやらないかしら。
(萩が丘 50代 主婦)

祭りに合わせて開催する本町小学校での創意工夫展。昔は何とも思わなかったのに、自分に子供ができた今の方が楽しんでいます。
(横浜市　40代　会社員)

普段全然片付けない子供がトングを手にゴミ拾いイベントに夢中になっていて、最後はトングを持って帰りたいとまで言っていました。
家でもキレイ好きだといいのに。
(菩提　30代　主婦)

毎年ステージでダンスをする子供を見て成長を実感しています。
去年は仕事で行けなかったので今年は見たいなぁ。
(堀西　30代　会社員)

昔と今を知ることで、たばこ祭をもっと身近に感じてもらえたでしょうか。
「好きになるのはいつだって、中身を知ったとき」
火を象徴とする祭りへの愛は、これからもまちを明るく照らし続けます。

これからのたばこ祭にも注目

9月26日(土)27日(日) 第68回秦野たばこ祭

メロディー花火
秦野にゆかりのある坂井泉水さんがボーカルを務める「ZARD」の、去年12月に渋沢駅の駅メロにも採用された名曲「揺れる想い」に合わせて、花火が祭りのフィナーレを鮮やかに彩ります。

露店王グランプリ2015
各店主が店の装飾やサービスなどを競い合い、来場者が優良店を決めるコンテストを今年も開催します。
今年は、携帯電話、スマートフォンによる投票に加え、専用の用紙でも投票できます。投票者には抽選で素敵な賞品が当たります。

SNSによる情報発信
市民団体の協力を得て、ツイッターやフェイスブックなどで随時イベント情報を発信します。

問い合わせ　観光課☎(82)9648

障害者と要介護の認定者を招待 市役所屋上で花火観覧

とき　9月27日(日)　午後7時半～8時
対象　市内在住の障害者または要介護認定を受けている方とその介護者、東日本大震災避難者120人(申し込み先着順)
申し込み　9月1日(火)午前8時半～電話受け付け(必要事項は住所、氏名、電話番号、人数、対象区分、来場方法、車いすの有無など)　※聴覚障害者はファクス(82)8020)も可

問い合わせ　障害福祉課☎(82)7616または高齢介護課☎(82)9616

秦野たばこ祭のため休業

市役所本庁舎の窓口サービス

9月26日(土)は、全てお休みします。各連絡所での戸籍謄本・抄本や税関係証明の交付なども行いません。

問い合わせ　行政経営課☎(82)5102

市営片町駐車場

9月25日(金)正午から27日(日)午後10時までは、駐車できません。

問い合わせ　産業政策課☎(82)9646

ひと足早く　秋の景色を楽しもう

一瞬のきらめきを ダイヤモンド富士

貴重な瞬間を逃さずに

富士山の山頂に太陽が沈んでいくとき、まるでダイヤモンドのようにきらめく、「ダイヤモンド富士」。自然が演出する神秘的なショーを楽しんでみませんか。

とき(時刻は目安)	ところ
9月15日(火)午後5時24分	震生湖近くの高台
15日(火)午後5時26分	下大槻団地入口交差点
18日(金)午後5時20分	今泉名水桜公園
19日(土)午後5時20分	権現山山頂
20日(日)午後5時17分	市役所付近
20日(日)午後5時18分	めんようの里
25日(金)午後5時9分	田原ふるさと公園
10月1日(木)午後5時3分	菜の花台
7日(水)午後4時56分	岳ノ台

問い合わせ　観光協会☎(82)8833

里山を歩こう「秋の気配」

エゾビタキ

ミゾソバ

とき・ところ　9月19日(土)午前9時東公民館集合～正午　**内容**　野鳥や植物の観察　**定員**　30人(申し込み先着順)

問い合わせ　環境保全課☎(82)9618

観光ボランティアと歩こう 上地区彼岸花ハイキング

とき・ところ　9月24日(木)午前9時渋沢駅改札前集合～四十八瀬川～不動院～イボ地蔵～午後3時　**定員**　40人(申し込み先着順)　**費用**　500円

四十八瀬川の彼岸花

問い合わせ　観光協会☎(82)8833

バッタを飛ばしてみよう

とき　9月26日(土)　午前9時半～11時半　**対象**　小学生以上30人(申し込み先着順。2年生以下は保護者同伴)

問い合わせ　くずはの家☎(84)7874

初秋のふるさと秦野お手軽散歩

蓑毛路「金目川渓流と棚田・御師の里」

蓑毛の棚田

とき・ところ　9月19日(土)午前8時50分秦野駅改札前集合～春嶽湧水～大日堂～正午緑水庵　**定員**　20人(申し込み先着順)　**費用**　300円

まち発見！ 鶴巻野仏の道と寺社めぐり

極楽寺と仏像

とき・ところ　10月31日(土)午前9時鶴巻温泉駅北口集合～石座神社～極楽寺～延命地蔵～善昌寺～正午　**定員**　30人(申し込み先着順)　**費用**　300円

問い合わせ　観光協会☎(82)8833

9月は高齢者がお得　弘法の里湯

鶴巻温泉弘法の里湯は市営の日帰り入浴施設。深さ1000メートルからくみ上げた源泉「つるまき千の湯」で、体の芯まで温まり、のんびりとくつろぎませんか。

入館・入浴料を割り引き

65歳以上の方の入館・入浴料を200円割り引きます。健康保険証や運転免許証など、年齢の分かるものを窓口で提示してください。　※他の割引との併用はできません

源泉でリラックス

問い合わせ　弘法の里湯☎(69)2641

歴史・文学に触れよう 市民大学

とき・費用　◇幕末維新の動乱と長州藩「吉田松陰とその弟子たち」　9月26日(土)、10月3日(土)、17日(土)の全3回　午後1時半～3時　講師　星野尚文氏(東海大学准教授)　600円　◇萬葉集の世界「大宮人の日々」　9月26日～10月24日の土曜日全5回　午後3時10分～4時40分　講師　志水義夫氏(東海大学教授)

対象　各コース市内在住・在勤・在学の高校生以上80人(申し込み先着順)

興味深い話に耳を傾ける

問い合わせ　図書館☎(81)7012

文化会館チケット情報

9月6日(日)午前10時発売
(電話受け付けは午後1時～)

佐藤しのぶカルメン・ファンタジー ～カルメンとミカエラ　ふたりの女～

12月19日(土)　午後2時半～　大ホール　全席指定　4000円

9月13日(日)午前10時発売
(電話受け付けは午後1時～)

薗田憲一とデキシーキングス with FUMIKA ～聖者の行進～

12月5日(土)　午後3時～　大ホール　全席指定　2000円

※いずれも未就学児は入場できません。

問い合わせ　文化会館☎(81)1211

お出掛けください　箱根町

火山活動の活発化で規制されている大涌谷周辺以外は、普段どおりの観光ができます。

年40万人訪れる箱根関所

ぜひお出掛けください。

箱根関所「クロの日」

居合道の演武やゆるキャラのアトラクション、抽選会など楽しいイベントが盛りだくさんです。

とき　9月6日(日)　午前10時～午後3時半

問い合わせ　箱根関所☎0460(83)6635

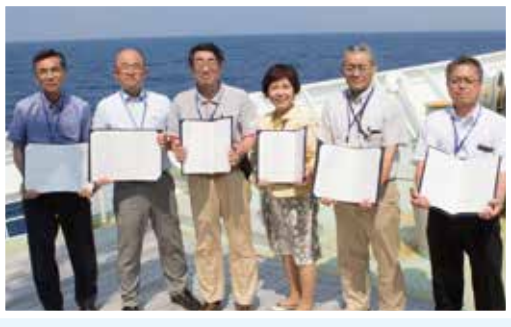
カメラスケッチ（８月１日～３日）

きっとずっと忘れない 洋上体験研修

秦野市と中井町、大井町、松田町、二宮町、清川村の中学生が東海大学海洋調査研修船「望星丸」に乗船。普段とは違う船上での生活を通じて、自立心や協調性を育み、学校の枠を越えた仲間づくりを行いました。

時には船内の厳しいルールや甲板清掃に悪戦苦闘しながら、深海の海洋調査や、停泊した新島でのウオークラリー、海水浴なども体験。ひと夏の思い出が一生の宝物になりました。

洋上サミットも同時開催



１市４町１村の首長などが集まる「洋上サミット」も７年ぶりに開かれました。さまざまな体験を通じて、子供たちの生きる力を育むことをテーマに意見交換し、今後も相互に協力、連携を図ることを確認しました。

洋上体験研修の動画を、市ホームページに掲載しています。　秦野　洋上体験研修　検索

お知らせ

時＝とき　場＝ところ　内＝内容　対＝対象　定＝定員　費＝費用
申＝申し込み　締＝締め切り　問＝問い合わせ

行政一般

●環境放射能・放射線の状況

昨年10月から今年３月までに実施した、放射性物質濃度、空間放射線量、保育園・学校給食の被ばく量の測定では、国が示す基準を超えたものはありませんでした。なお、測定結果は市ホームページで公表しています。　問くらし安全課☎(82)9625

●国勢調査にご協力を

10月１日(木)を調査期日として、国勢調査を実施します。９月上旬から統計調査員が各世帯を訪問し、インターネット回答関係書類を配布します。９月10日(木)～20日(日)はインターネットで回答ができますが、回答がなかった世帯には調査票を配布します。　問国勢調査事務室☎(83)7985・7986

●守ろう　屋外広告物設置のルール

今年度から野立て広告の許可を受けた管理者へ、適合シールを交付しています。適合シールを看板に貼ることで、適正な手続きをしていることが分かります。　※年度ごとに交付するので、シールなしで適合している広告板もあります。許可の基準は設置場所や種類で異なるため、事前に必ず相談してください。　問建築指導課☎(83)0883

●宝くじの助成金で備品を購入

イベントなどで活用

西地区住みよい町づくり運動推進委員会は、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施するコミュニティ助成事業で、テントなどを購入しました。　問市民自治振興課☎(82)5118

●線引き見直し　素案の閲覧と公聴会

市街化区域と市街化調整区域の変更(線引き見直し)などに関する県の素案がまとまりました。　時場◇**閲覧**　９月４日(金)～25日(金)　市役所西庁舎２階都市政策課、県都市計画課　◇**公聴会**　10月16日(金)　午後７時～９時　文化会館　**公述の申出**　９月４日～25日に公述申出書(都市政策課と県都市計画課にあります)を都市政策課または県都市計画課へ提出。公述人は10人程度を予定しています。　※傍聴を希望する方は、当日会場へ。なお、公述の申し出がないときは、公聴会は開催されません　問都市政策課☎(82)9643または県都市計画課☎045(210)6175

催し

●就職を支援　個別カウンセリング

時９月９日(水)　16日(水)　午前10時～午後４時(正午～午後１時を除く)　１人１時間以内　場市ふるさとハローワーク(秦野駅前農協ビル３階)　内適職発見、求人情報の検索・活用、応募書類の書き方、面接トレーニングから１つを選択　対市内在住の18～65歳の求職者５人(申し込み先着順)　※16日は保育あり　申電話で予約し、市役所西庁舎１階産業政策課または市ふるさとハローワークへ　問産業政策課☎(82)9646

●ご協力を　市内一斉美化清掃

時９月13日(日)　場各自治会の区域　※実施時間や雨天時の対応は、各自治会で決定します　問環境資源対策課☎(82)4401

●中学生英語スピーチコンテスト

市内在住の中学生12人が思いや主張を英語で発表します。来場者の投票で決める「オーディエンス賞」もあります。　時９月20日(日)　午後１時半～４時　場文化会館　入場自由　問市民自治振興課☎(82)5118

●応急手当講習会

時10月３日(土)　午前９時半～午後０時半　場保健福祉センター　内普通救命講習Ⅰ(成人への心肺蘇生法、ＡＥＤの使い方など)　定市内在住・在勤・在学の中学生以上20人(申し込み先着順)　※修了証を発行。再受講も可　問警防対策課☎(81)8020

募集

●保健師(臨時職員)

勤務内容　生活習慣病の予防事業など　**勤務日**　平日の午前８時半～午後５時15分　**任用期間**　１年程度　**報酬**　時給1600円　申履歴書に保健師免許証の写しを添えて、市役所２階健康づくり課へ本人が持参　※後日面接あり　問健康づくり課☎(82)9603

スポーツ

●ふれあいスポーツデー

時９月５日(土)　午前９時～正午　場総合体育館　入場自由　問スポーツ振興財団☎(84)3376

●子供テニス教室

時９月25日～11月20日の金曜日(10月９日を除く)　全８回　午後５時半～６時半　場総合体育館　対小学１～４年生30人(申し込み多数のときは抽選)　費3500円　申９月４日(金)～10日(木)　問スポーツ振興財団☎(84)3376

●初心者バドミントン教室

時10月７日～11月25日の水曜日　全８回　午前９時～11時　場総合体育館　対高校生以上40人(申し込み多数のときは抽選)　費3000円　申９月４日(金)～10日(木)　問スポーツ振興財団☎(84)3376

●ボクシングエアロ教室

楽しくエクササイズ

時10月７日～12月９日の水曜日(11月４日、12月２日を除く)　全８回　午前９時半～10時半　場サンライフ鶴巻　定50人(申し込み先着順)　費3000円　申９月３日(木)～　問スポーツ振興財団☎(84)3376

●初心者ユニカール教室

時10月７日～28日の水曜日　全４回　午後１時～３時　場総合体育館　対高校生以上20人(申し込み多数のときは抽選)　費1600円　申９月２日(水)～８日(火)　問スポーツ振興財団☎(84)3376

健康

●献血

時場◇９月６日(日)　12日(土)　21日(月)　23日(水)　イオン秦野ＳＣ　午前10時～11時半、午後０時半～４時　◇27日(日)　市役所駐車場　午前10時～11時半、午後１時～３時半　問健康づくり課☎(82)9603

●はだの野菜ヘルシー料理講座

時９月29日(火)　午前10時～午後１時半　場広畑ふれあいプラザ　内キャベツチャーハンなど　定12人(申し込み先着順)　費500円　問健康づくり課☎(82)9603

●予約を忘れずに　人間ドック

助成対象となる方には４月中旬に利用券を送付しました。受診を希望する方は、９月30日(水)までに直接検査機関に電話で予約してください。　対次のいずれかに該当する方　◇平成26年４月１日以前から継続して国民健康保険に加入し、保険税を完納している40～74歳　◇後期高齢者医療制度に加入し保険料を完納している、助成申し込みをした　**検査機関・基本検査料**　◇八木病院・くず葉台病院　３万8880円　◇秦野赤十字病院　４万780円　◇ＪＡ健康管理センターあつぎ　４万3200円　◇東海大学医学部付属病院　４万9680円　※検査料から助成額２万円を差し引いた額で受診できます　**注意**　人間ドックを受診する方は、特定健診や市民健診を受けることはできません。　問国保年金課☎(82)9613

施設情報

図書館☎(81)7012

●赤ちゃんといっしょのおはなし会

時対◇９月４日(金)　午前10時～10時半　０・１歳児と保護者10組　◇午前11時～11時半　１～３歳児と保護者10組　いずれも申し込み先着順

●映画会

時内◇９月５日(土)　午前10時～11時50分　「石井のおとうさんありがとう」(邦画)　◇９月19日(土)　午後３時半～４時20分　「イソップ物語」(アニメ)　定各日80人(当日先着順)

●おはなし会

時内◇９月５日(土)　「山の神様」など　◇12日(土)　「マーシャとくま」　◇19日(土)　「おやすみなさいおつきさま」など　◇26日(土)　英語のおはなし会　いずれも午後２時半～３時　定各日30人(当日先着順)

●絵本とおはなしの講座

時９月30日～10月28日の水曜日　全５回　午前10時～正午　内絵本の読み比べなど　定20人(申し込み先着順)　※保育あり(予約制。申し込み先着順)

広畑ふれあいプラザ☎(77)6061

●ふれあい学級　みんなで楽しく歌って健康に

時９月20日(日)　午前10時～11時半　対40歳以上30人(申し込み先着順)

９月６日(日)　ご参加を　総合防災訓練

水筒の用意など暑さ対策をして、家族や地域の皆さんと一緒に参加してください。
時午前９時(防災行政無線と緊急情報メールで訓練の開始をお知らせ)～正午
場自治会避難場所、市内の小・中学校などの広域避難場所

けが人の救出訓練

地域で支えよう　避難行動要支援者

災害時に自力で避難することが困難な方などを掲載した「避難行動要支援者名簿」を作り、自治会や自主防災会、民生委員などに配布しました。災害が起こったときに、地域で協力し合って要支援者を手助けするため、日頃から近所同士でコミュニケーションを取り、信頼関係を深めましょう。防災訓練では安否確認の訓練をお願いします。
問防災課☎(82)9621

介護を予防しよう

●囲碁サロン

時９月10日(木)　午後１時～３時　場サブセンターむつみ(平沢370－３)　入場自由　対65歳以上

●音楽の力

時９月14日(月)　午後１時半～３時　場湘南老人ホーム(下大槻1169－２)　内音楽を楽しみながら認知症を予防　対65歳以上15人(申し込み先着順)

●健康チェック・健康講座

時９月15日(火)　午前10時～11時　場みんなのサロンなつめ(戸川702)　入場自由　内イスに座ってできる体操やストレッチ　対65歳以上

●心と体のストレス解消

時９月18日(金)　午前10時～11時半　場ライフプラザ鶴巻　対65歳以上20人(申し込み先着順)

●知って得する介護講座

時９月28日(月)　午後１時半～３時半　場保健福祉センター　内認知症高齢者の理解と対応　定40人(申し込み先着順)

●介護者のつどい

時場◇９月29日(火)　午後１時半～３時　本町地域高齢者支援センター(本町１－11－19)　◇10月１日(木)　午後１時半～３時　西地域高齢者支援センター(三廻部510)　定各日20人(申し込み先着順)

●身体(からだ)改善プログラム

時９月30日(水)　午前10時～11時　場曲松児童センター　内肩凝り、腰痛の改善　対65歳以上20人(申し込み先着順)

問高齢介護課☎(82)7394

子育てを応援

10月１日(木)　子育て支援センター「ぽけっと21にし」開設

子供たちが自由に遊べて、親同士も気軽に交流できる場として、市内６カ所目の子育て支援センターを開設します。

明るい未来のために

場西幼稚園別棟２階

開設日　毎週火・木・金曜日　午前10時～午後３時

問子育て支援課☎(86)3460

おめでた家族教室

時◇母乳育児のすすめなど　11月５日(木)　12月３日(木)　◇マタニティクッキング　11月12日(木)　12月10日(木)　◇出産の呼吸法など　11月19日(木)　12月17日(木)　◇沐浴(もくよく)実習など　11月26日(木)　12月19日(土)　いずれも午前９時半～11時半　場保健福祉センター　対各日妊娠５カ月以降の妊婦と家族20組(申し込み先着順)

問健康づくり課親子健康担当☎(82)9604

みんなの伝言板

市内の公共施設を利用

市制施行60周年記念市民企画事業

郷土の石碑　拓本展　９月２日(水)～７日(月)　午前11時～午後４時　秦野駅前ショッピングセンター　石川☎090(1790)3896

市民吹奏楽団定期演奏会　９月13日(日)　午後２時～４時　文化会館　竹内☎080(6631)9473

福祉芸能フェスティバル　９月27日(日)　午前９時～午後８時　文化会館　カラオケ、日舞などの発表　※朝食のプレゼントあり　藤歌謡サークル・藤咲☎090(6184)0691

催し案内

オカリナの合同音楽会　９月12日(土)　午後１時～４時　本町公民館　200人(当日先着順)　山領☎(83)8057

スクエアダンス体験会　９月12日(土)　午後１時半～３時半　鶴巻公民館　ツルマキワンモーメント・由田☎(76)8172

秦野歴史おこしの会　９月13日(日)　午後１時半～３時半　北公民館　曽屋水道　太田☎(74)2821

骨盤矯正初心者講習会　９月13日(日)　午後１時半～３時半　本町公民館　18歳以上40人(当日先着順)　骨盤矯正塾・市野☎(89)2277

全国囲碁・将棋大会　９月21日(月)　午前10時～午後４時　文化会館　1500円(高校生以下は1000円)　太田☎(87)9773

彼岸花ウオーク　９月23日(水)　午前９時～午後３時　西公民館　雨天中止　300円　四十八瀬川自然村・岩瀬☎080(5521)7669

親子で楽しむキッズテニス教室

９月23日(水)　午前10時15分～11時45分　総合体育館　４～７歳25人(申し込み先着順)　1000円　市テニス協会☎(84)0050

アルス音楽講座　◇９月29日(火)　「夜想曲」の誕生　ショパンの名作までの道　◇11月18日(水)　歌曲　シューベルトがひらいた扉　いずれも午前10時半～正午　図書館　講師　美山良夫氏(慶應義塾大学名誉教授)　50人(申し込み先着順)　岡本☎(78)0967

その他

赤十字減災セミナー　９月６日(日)　午後２時～４時　本町公民館　災害時に必要な技術や知識など　15歳以上50人(申し込み先着順)　秦野赤十字病院☎(81)3721

講演会「若年性認知症の理解と介護のポイント」　９月19日(土)　午後１時半～３時　介護付有料老人ホーム「結」(今泉696－１)　30人(申し込み先着順)　介護付有料老人ホーム「結」☎(84)0700

親子のためのリトミック教室　10月24日(土)～12月19日(土)　全５回　午前10時半～正午のうち40分　３歳以下15人(年齢別。申し込み先着順)　5000円　東海大学湘南キャンパス(平塚市北金目４－１－１)　東海大学エクステンションセンター☎03(5793)7133

公民館・会館だより

定員のあるものは原則申し込み先着順、ないものは原則入場自由です。

大根公民館☎(77)7421

絵本の読み聞かせ　９月12日(土)　午後１時半～２時　「おりがみにんじゃ」など

介護予防教室「身体(からだ)のコリをほぐしましょう」　９月17日(木)　午前10時～11時半　65歳以上20人　大根地域高齢者支援センター☎(76)5208へ

本町公民館☎(84)5100

初心者パソコン相談　９月15日(火)　午後１時半～３時半　パソコン持参

落花生を使った料理教室　９月29日(火)　午前10時～午後１時　20人　150円

渋沢公民館☎(87)7751

介護予防講座「ヨガ教室」　９月16日(水)　午前10時～11時半　65歳以上20人

初心者パソコン何でも相談　９月27日(日)　午後１時半～３時半　パソコン持参

鶴巻公民館☎(76)0463

指で描くパステル画　９月28日(月)、10月５日(月)の全２回　午後１時半～３時半　10人　1300円

南が丘公民館☎(84)6411

伝承の赤ちゃん育て　９月８日(火)　29日(火)　午前11時半～午後０時半　０歳児と親８組　500円

ぬいぐるみお泊り会　◇お預かり　９月26日(土)　午後４時半～５時　◇お迎え　27日(日)　午前10時～10時半　小学６年生以下が所有する、ぬいぐるみ20体(１人１体)

東公民館☎(82)3232

楽々フォト展　10月４日(日)～11月６日(金)

高齢者生き生きランチのつどい　10月14日(水)　午前10時～午後３時　65歳以上15人　500円

上公民館☎(87)0212

秦野観光写真コンクール入賞作品展　９月２日(水)～15日(火)

男の料理教室「秋の行楽弁当」　９月27日(日)　午前９時半～午後１時　カジキマグロの照り焼きなど　20歳以上12人　1200円

南公民館☎(81)3001

敬老の日プレゼント「なつかしのきな粉棒」　９月19日(土)　午前９時半～11時半　小学生12人　500円

子供茶道教室　９月23日(水)、10月21日(水)、11月25日(水)の全３回　午後３時半～５時　小学生10人　１回200円

西公民館☎(88)0003

やまなみ囲碁道場　10月～平成28年３月の第１・３土曜日　午前９時半～　小学生以上10人

本の会「江戸川乱歩の世界」　10月９日(金)　午前10時半～正午　読書会　10人　150円

子供卓球教室　10月～平成28年３月の第２土曜日　全６回　午前９時～11時　小学生15人

北公民館☎(75)1678

月見饅頭(まんじゅう)作り　９月13日(日)　午前９時半～午後１時　16人　600円

手もみ茶作り体験教室　９月19日(土)午前８時高梨茶園駐車場集合～午後６時　12人　1500円

パソコン講座「ワードで案内状を作る」　９月19日(土)　午前９時半～午後３時半　13人　850円

ほうらい会館☎(81)8310

月見・じょうよ饅頭作り教室　９月11日(金)　午前10時～午後１時　ヤマトイモを練り込んだ生地であんを包んだ饅頭　15人　300円

介護者のつどい　９月29日(火)　午後１時半～３時　介護をしている方のおしゃべりの場　10人